

＜カートリッジの取り外し手順＞

作業中は水に濡れます。そのため、水で濡れても良い床か、バケツやシンクなど水受け処理を実施してください。

作業前にアルコール等で手を消毒してください。

1. 設置装置を停止させ、止水栓、元栓を閉じます。
2. インノズル、アウトノズルに付いているフレキシブルホースの袋ナットをレンチで緩め、ハウジングから取り外します。(図1)
※水が漏れる可能性がありますのでご注意ください。
※ブラケットを使用している場合、ブラケットも外してください。
3. バンドのハンドルをゆっくり緩めて、ハウジング内部の圧力を開放します。(図2)
4. ハンドルを回してバンドを緩め、ハウジングから取り外します。(図3)
この時、勢いよく水が噴出することがありますのでご注意ください。
5. カートリッジの付いたキャップを真っ直ぐ上方向に引き抜き、ボディを外します。
この時、カートリッジから水がこぼれ落ちますのでバケツ、ポリ袋などで受けてください。
6. カートリッジを反時計回りにゆっくり回して取り外します。(図5)

●新たにカートリッジを取り付ける場合は＜カートリッジの取り付け手順＞の4～8、＜通水確認手順＞を実施してください。

※交換の際はハウジングに対応したカートリッジを必ずご使用ください。

※交換の際はDリングも同時に交換してください。

症状	原因	改善方法
バンドを締め付けられない。	Dリングがねじれて、ボディに取り付けられている。	Dリングをろ過筒の溝に沿って取り付けてください。
新しいカートリッジを設置したが、水が出ない。	キャップのインノズルに接続した止水栓または、給水管元栓が閉じている。	止水栓、給水管元栓を開けてください。
	D-4形の先に設置しているディスペンサー、製氷機などが停止している。	ディスペンサー、製氷機などを移動してください。
処理水が白濁する。	カートリッジ内部に空気が残っている。	空気を排出するまで通水してください。
キャップとボディの隙間から水漏れする。	Dリング、キャップまたはボディの間に毛髪、ゴミなどの異物が付着している。	バンドを取り外して、異物を取り除いてください。
	Dリングがねじれて、ボディに設置されている。	Dリングをボディの溝に沿って正しく設置してください。
	給水圧力が異常に高い。または配管に脈動、ウォーターハンマー(水撃)が発生している。	給水側配管に市販の減圧弁などを設置して減圧してください。
	バンドの上下が間違っている。	側面の「▲UP」を確認して、正しく取り付けてください。
カートリッジの目詰まりが早い。	キャップ、バンド、ボディの組合せが間違っている。	各型式を確認し、納品時の組合せにしてください。
	近隣の水道工事などにより、一時的に水質が悪化してカートリッジを目詰まりさせたか、気候・季節変動により水質が変動した。	カートリッジは消耗品です。新しいカートリッジに交換してください。
	D-4形の先に設置しているディスペンサー、製氷機などの機器類で、冷却水などで多量の水を使用している。	冷却水などの配管には接続しない。ディスペンサー、製氷機などの機器類の取扱説明書を参照ください。

＜消耗品＞

名称	交換のタイミング
各種D-4形カートリッジ	・カタログ記載の採水能力に達した場合 ・通水を始めてから1年以上経過した場合
Dリング	・キズや破損が確認された場合 ・ハウジングが正しく取り付けられているにもかかわらず、漏水が発生する場合

製品に対するお問い合わせは弊社担当事業部にご相談ください。

オルガノ株式会社 機能商品事業部
〒136-8631 東京都江東区新砂 1-2-8
TEL 03(5635)5193



業務用浄水器

オルガノフィルター®

D-4G形ハウジングシリーズ 共通 取扱説明書

秘密水準 F

複写禁止及び第三者への開示・公開禁止

保管用

このたびは弊社の業務用浄水器オルガノフィルターD-4G形シリーズをお買い上げ頂き、誠にありがとうございました。本書はD-4G形各種ハウジングとD-4形専用の各種カートリッジを組み合わせでご使用頂く際の取扱について記載しております。

- 取扱説明書は製品を使用する前によくお読みの上、正しくご使用ください。
- 取扱説明書はいつでも使用できるように大切に保管してください。
- 取扱説明書の記載事項は改善・改良などにより貴社納入品の取扱いと異なる場合がありますことを、あらかじめご了承ください。

◆安全上のご注意

◎ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
◎ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
◎注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「注意」としています。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 表示と意味は、以下のようになっています。

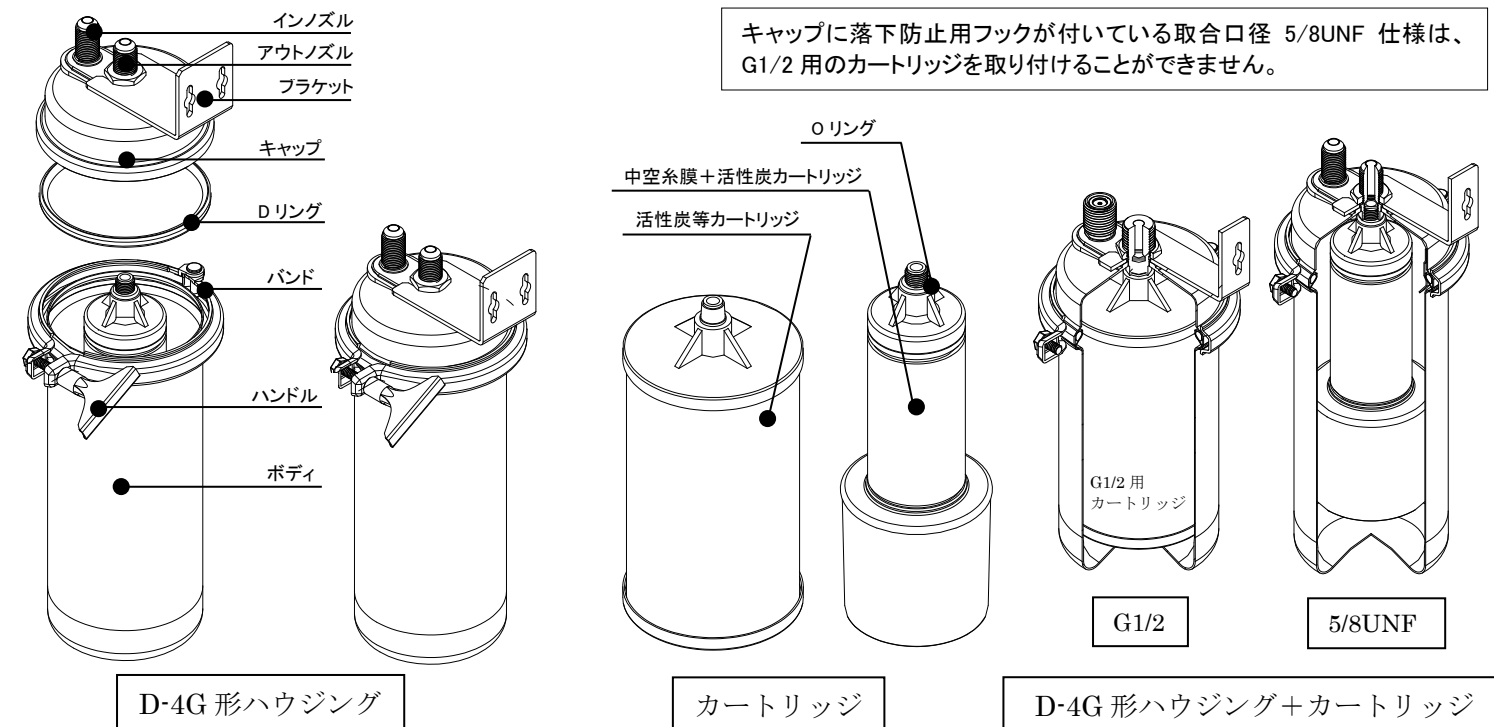
	この記号は禁止の行為であることを告げるものです。
	この記号は行為を強制または指示する内容を告げるものです。

◆輸出貿易管理について

本装置・その部分品及びそれらに関する技術情報は、輸出貿易管理令等の規制対象となることがあります。輸出の際には、規制対象に該当するか否かの確認を行って頂き、該当する場合はお客様の責任において輸出許可申請等所定の手続きをお取り下さい。

◆製品について

本取扱説明書では、D-4形について次の名称を使用して説明しています。



◆施工について

⚠ 注意 水漏れ水浸しの恐れあり

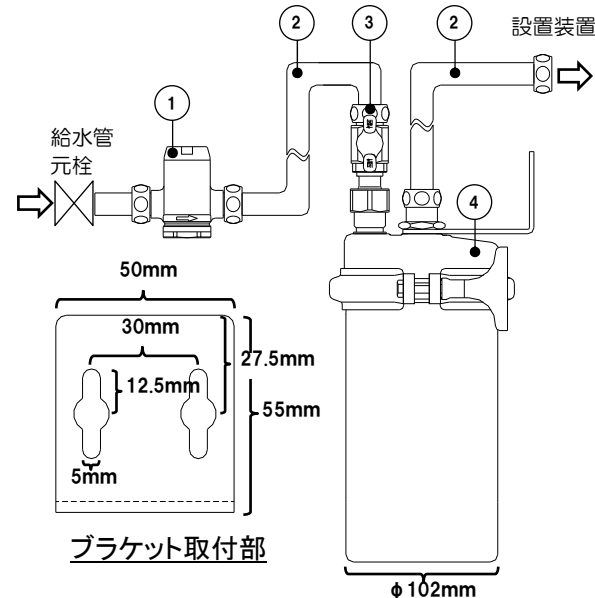
⊘	<ul style="list-style-type: none"> ●有機溶剤や酸、アルカリの発生する場所では使用しないでください。 ●電器製品など、水濡れにより不具合を発生させるものの上にD-4形を設置しないでください。 ●火気の近くや暖房器具等高温になった機器の側に設置しないでください。 ●D-4形、接続配管や水栓は土中、床、壁などに埋設しないでください。 ●常用圧力1.0MPa(夜間、休日等)を超える場合、配管に脈動、ウォーターハンマー(水撃)の発生する場所では、給水側配管に市販の減圧弁などを設置して減圧対策を講じるか、使用を避けてください。 ●入口には元バルブを設け、瞬間的に多量の水(ろ過流量以上)を流すことは避けてください。 ●温水(水温 35℃超過)を給水しないでください。
!	<ul style="list-style-type: none"> ●D-4形を設置する際に使用する止水栓・分岐止水栓、フレキシブルホース、チーズなどの配管部品、継手は日本水道協会認証品をご使用ください。これら水道部品は本製品に付属されておりませんので別途ご用意ください。 ●D-4形の設置施工は水道施設工事業者または資格を持つ方が行ってください。 ●新しいビル、建物の場合には配管中に色々な異物が混入している場合がありますので、それらを必ず取り除いてからハウジングやカートリッジを取付けてください。 ●カートリッジ交換時など水漏れに対応できる排水場所を準備してください。 ●屋内で直射日光の当たらない場所でご使用ください。 ●ディスペンサーや製氷機一台につき、D-4形と分岐水栓を各一台ずつ設置してください。 ●D-4形から先に接続するディスペンサー、製氷機までの配管長さは1m以内としてください。 ●カートリッジ交換の為、D-4形の周囲に60cm以上の空間を確保してください。 ●D-4形ハウジングの満水重量に耐える強度を持つ場所に設置してください。 D-4SG形:2.5Kg、D-4G形:約3.3Kg、D-4MG形:4.1Kg、D-4LG形:5.3Kg ●D-4形が凍結(寒冷地や冬期等)する可能性がある場合は、凍結防止策を講じてください。 ●結露の可能性がある場所で使用される場合は、結露防止策を講じてください。 ●減圧弁設置の際、設置装置の要求水圧を確認してください。 ●本製品は給水圧力0.07~1.0MPaの範囲でご使用ください。 ●キャップ、バンド、ボディに記載されている型式が同じであることを確認の上、納品時の組合せでご使用ください。

⚠ 注意 正しく浄水されない恐れあり

!	<ul style="list-style-type: none"> ●D-4形への給水は水温5~35℃としてください。 ●D-4形へは水道水の飲用基準に適合した水を給水してください。 ●ハウジングを横にして使用すると、正規の能力を発揮することができません。
---	--

<各部の名称>

- ① 減圧弁
- ② フレキシブルホース、袋ナット(G1/2または5/8UNF)
- ③ 止水栓
- ④ D-4G形ハウジング



<給水栓の分岐、取付金具・浄水器の設置手順>

1. 作業を始める前に給水管の元栓を閉じて、水流が止まり、圧力が掛かっていないことを確認します。
2. 既設の配管に減圧弁、フレキシブルホース、止水栓を接続します。
3. 止水栓をキャップのインノズル側に接続します。
4. フレキシブルホースでアウトノズルと設置装置を接続します。
5. ハウジング外面が結露する時には、その下に受け皿などを置き、水滴を受けてください。
6. 壁などに取り付ける場合はブラケットを使用してください。

◆カートリッジの取り付け、取り外し、通水確認の手順

⚠ 注意 水漏れ水浸しの恐れあり

⊘	<ul style="list-style-type: none"> ●一度濡らしたカートリッジを使用しないでください。空気抜きができず、カートリッジ内の圧力が上昇する場合があります。 ●加圧状態のままハウジングを開けないでください。水や空気が噴出する場合があります。
---	--

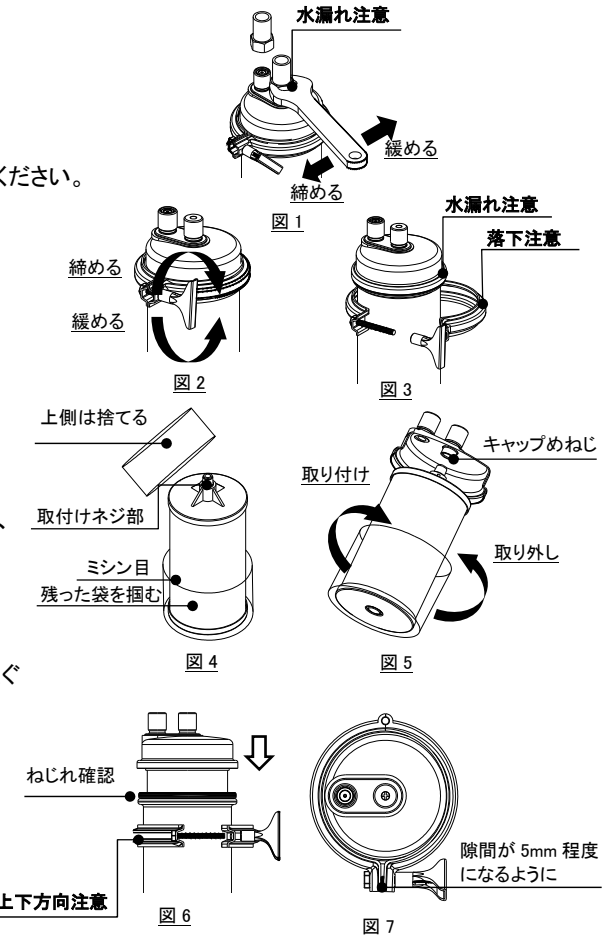
!	<ul style="list-style-type: none"> ●カートリッジの交換作業中は、D-4形の先に設置しているディスペンサー、製氷機などの機器類へ給水できません。それらの機器類の運転停止など必要な対策を講じてください。 ●Dリングは異物が付着しないように、また、ねじれないようにセットしてください。 ●カートリッジを取り付ける前にキャップ、ボディにゴミ、毛髪など、異物があれば、取り除いてください。 ●カートリッジに初めて通水する場合や、カートリッジを交換した場合などは、使用前に必ず2~3分ブローしてください。 ●カタログ記載の採水能力に満たない場合でも目詰まりの激しい場合や、使用頻度が少なく、ろ過能力が残っていた場合でも1年以上使用した場合は新しいカートリッジに交換してください。 ●カートリッジを落としたり衝撃を与えたりしないように取扱ってください。 ●JWWA認証品は、JWWA認証カートリッジをご使用ください。 ●カートリッジはキャップにしっかりとねじ込んでください。ねじ込まないと遊離残留塩素による異臭味の原因となります。
---	--

<カートリッジの取り付け・交換手順>

準備するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・バケツなどの水受け・通水用ホース(フレキシブルホースなど)・消毒用アルコール ・モンキーレンチ×1(ナットが供回りした場合は2個使用して作業してください)
--------	---

作業中は水に濡れます。そのため、水で濡れても良い床か、バケツやシンクなど水受け処理を実施してください。作業前にアルコールなどで手を消毒してください。作業しやすい場所での交換であればフレキシブルホースを外さなくとも交換可能です。

1. 設置装置を停止させ、止水栓、元栓を閉じます。
2. インノズル、アウトノズルに付いているフレキシブルホースの袋ナットをレンチで緩め、ハウジングから取り外します。(図1)
※水で周辺が濡れる可能性がありますのでご注意ください。
※ブラケットを使用している場合、ブラケットのナットを取り外し、浄水器から取り外してください。
3. ボディを手で固定しながら、ハンドルを回して、バンドを緩めます。ある程度緩まったら、バンドを手で固定しながら、ハンドルを回し、バンドを取り外します。(図2、3)
※水で周辺が濡れる可能性がありますのでご注意ください。
※排水溝がある場合は、ハンドルが落下しない場所で作業してください。
4. 不織布が巻いてあるカートリッジは梱包袋の中央にミシン目がありますので、それに沿って袋の上側を剥ぎ取り、袋の下側ごとやさしく掴んでください。(図4)
それ以外のカートリッジは袋から出してください。
5. キャップを取り外し、カートリッジの“取り付けネジ部”をキャップ内側中央の“めねじ”に、時計回りにゆっくり回しながら取り付け、残った袋を取り外します。(図5)
※破損の恐れがあるため、必ずまっすぐねじ込んでください。
※正規の性能を得るために、必ず最後までしっかりねじ込んでください。
6. Dリングがねじれていない、ゴミなどが付いていないことを確認し、カートリッジを真っ直ぐボディの中に入れ、キャップを取り付けます。(図6)
7. バンドを取り付け、ハンドルを隙間5mm程度まで締めます。(図2、7)
※バンドは上下方向があります。バンド側面の「▲UP」が正方向になるように取り付けてください。
8. フレキシブルホースの袋ナットをインノズル、アウトノズルに取り付けます。(図1)



<通水確認手順>

1. 設置装置に初期微粉炭を含んだ水が流入しないように、アウトノズルのフレキシブルホースを取り外し、通水用ホースを取り付けます。
 2. 通水を始める前に、もう一度各取り付け部がしっかりと固定、接続されているかご確認の上、止水栓、元栓を開きます。
 3. **カートリッジ内の空気抜きや施工時のゴミ等除去のため、2~3分間通水します。**
※初期微粉炭による黒水が流出することがありますが、商品には問題ございません。
 4. コップなどを使用して処理水が白濁していないか確認してください。
処理水が白濁した場合、カートリッジ内部に空気が残っていますので、再度通水してください。
※白濁は水に溶けている空気ですので、商品には問題ございません。
 5. 止水栓の開閉により吐出流量を調整します。
 6. 通水確認の最後に、通水状態での水漏れがないか、さらに約30分間加圧した状態で水漏れがないか確認します。水漏れがなければ、通水確認は完了です。
 7. 元栓を一旦閉じ、水を止めた状態で排水用ホースを外して、設置装置側のフレキシブルホースを取り付けます。元栓を開き、水を流してから設置装置を起動してください。
- 衛生的にご使用いただくため、毎日使用開始前に30秒間以上通水してください。

